

9-11

生活の自立度を上げて生きがいを

ケアプランの目標達成を通して

ケアプラン

リハビリ

特別養護老人ホーム 水元園

介護職員 田口 泉	介護職員 石川 愛実
東京都葛飾区西水元4-6-1	介護職員 酒井 大地
TEL : 03-3607-4060	E-mail : mizumotoen@jinseisha.ne.jp
FAX : 03-3607-4654	URL : http://www.edogawa.or.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要 10p	社会福祉法人、仁生社が母体である水元園は昭和63年4月に100床の特養として開設されました。建物は水と緑に囲まれた閑静な環境の中にあり、かつ協力病院が近くにあるのが特色です。また、御家族との密接な交流はもとより、地域社会との協力関係を保ち開かれた施設です。
--------------------------------	--

<p>〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ ケアプランの目標設定の期間を短くする 現状… 自立に関するニーズ→目標が達成できない 目標設定の見直し→目標達成への実感がわき、意欲の向上とともに生活に生きがい生まれるのではないかと考えた○ 対象者のケアプラン内容を職員へ伝達し統一する○ 目標に向けての具体的な取り組みの実施 <p>〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 各ブロック1名、計4人の対象者を挙げる○ お客様への説明と同意、また、御家族への説明と同意を得る○ H19.9.5～H20.4.7の期間で行う○ 現在のケアプランの期間（3ヶ月）を2週間と短くし、2週間で1クールとする○ 目標までのハードルを短くして、1つ達成されたら次のステップへと進むようにする○ 1クールごとに訓練内容の達成度を振り返る○ 1クールごとに次の目標を設定する○ 期間終了後、評価を行う	<p>〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 全職員へケアプラン内容を伝達、対応を統一したことで、担当職員が不在でも訓練を行うことができた○ ケアプラン1つ1つのハードルを低くすることで、お客様に目標を達成する満足感を実感していただきながらプランを進めていくことができた○ 1クールを2週間とした事で、苦手な部分や1クールで目標達成出来なかった部分は、お客様が納得、克服するまで続けることができた○ 対象者の方々に笑顔が増え、交友関係も広がった○ 目標を達成した対象者の方に新たな目標ができた○ 他のお客様への良い刺激となった○ 対象者の方々に自信と満足感が生まれた <p>〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 各ケース担当、職員と連絡を取り合い、今後もリハビリを続けていく○ 今回の方法を他のお客様にも勧めていく
---	--

【メモ欄】